

第76回青森県高等学校選手権水泳競技大会 監督会議資料

大会の参加にあたって

- (1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に大会への参加を見合わせること。
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・臭覚や味覚の異常
 - ・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
- (2) マスクを持参すること。
- (3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (4) 声を出して応援をする場合はマスクを着用すること。
- (5) 顧問・引率責任者は、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。
- (6) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (7) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・メガホン
 - ・チーム共有で使用するストレッチマット、チューブ、バランスボール等の運動用具（個人専用は持ち込み可）
 - ・練習時のパドル・コード類
- (8) 新型コロナウイルス感染症への対応については、令和5年5月16日付で青森県高体連水泳専門部から発表されているものに則って行うこと。

I 競技について

- (1) 本競技会は、2023年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選・決勝ともに8レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 決勝は、予選の結果上位8名（チーム）が出場できる。ただし棄権者（チーム）が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (4) 決勝進出について、同記録で予定人員を超えた場合、200m以下の種目はスイムオフ、400m以上の種目は抽選を行う。
- (5) 補欠が同記録で複数いる場合、抽選を行う。補欠は、2名とする。
- (6) 招集は競技開始5分前から行う。招集の際に水着の確認を行う。
- (7) 予選を棄権する場合は、所定の用紙を当該競技当日の予選競技開始30分前までに大会本部に届け出ること。
- (8) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (9) 選手紹介は、予選はレーン前で選手紹介、決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。なお、決勝に出場する選手は、氏名、所属名の通告を受けてから入場すること。
- (10) リレーオーダーは、両日とも12：10までに本部に提出すること。

2 表彰について

- (1) 各種目の競技終了後に表彰式を行う。個人種目は3～4種目ごと、リレー種目はその都度行う。各種目3位までの選手・チームは表彰予定時刻5分前までに招集所に集合すること。
- (2) 1位から8位に賞状を授与する。賞状は受付で受け取ること。

3 全体スケジュール

期 日	事 項	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
6月16日(金)	公式練習日	13:00	練習時間 13:30～15:45				16:00
6月17日(土)	1日目	8:30	11:00	12:01	12:40	15:05	16:00
6月18日(日)	2日目	8:30	10:45	11:40	12:30	14:05	15:00

4 プールの使用について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため練習時に、各レーン内で待機する場合およびスタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。練習時の大きな声での指示を控えること。電子ホイッスルの使用は可とする。

(1) メインプール

- ①練習時間 9時00分～10時30分、公式スタート練習：9時45分～10時15分
- ②練習時のレーンは、1～5レーンを男子、6～8レーンを女子とする。
- ③第9レーンをペースレーンとする。
- ③公式スタート練習は、練習開始45分後に実施する。使用レーンは状況に応じて通告する。
- ④パドル・コード類の使用は禁止する。

(2) 深水プール

- ①16日の使用は禁止する。17・18日のみ使用可とし、利用時は他の選手との会話を控える。
- ②パドル・コード類の使用は禁止する。

5 施設への入場・退場について

- (1) 観客に関する規制は行わない。
- (2) 入館前に各自で検温を行い、発熱(37.5度以上)や普段の体調と異なる場合は自主的に参加を見合わせる。また、入館の際には手指の消毒を行うこと。
- (3) 観客が声を出して応援する際はマスクを着用すること。

6 施設の使用について

- (1) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (2) 入場から退場時までの全ての場面で、人との距離(できるだけ2m以上)をとって行動すること。選手控え場所・観覧席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。
- (3) 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、自分専用の物を用意し共用しないこと。したがって、**マイタオル・ハンカチ、脱いだ服を入れる袋**のほか、必要であれば自分専用のストレ

ッチマット等を持参すること。

- (4) 泳ぐとき以外は可能な限りマスクを着用すること。(更衣室・招集所・選手控え場所・観覧席・プールサイド・トイレなど) マスクは招集所を出る際に外し、服のポケットか袋に入れること。(マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない) **熱中症にも十分注意すること。**
- (5) 招集所には、招集を受ける選手以外は立ち入ることはできない。選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- (6) 更衣室は更衣のみの使用とし、**ロッカーは使用できない。**更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできない。プールサイドに荷物置き場を設置することが難しいため、レースの間、荷物は更衣室内に置いて構わないが、**貴重品の管理は各自が責任を持って行うこと。**
- (7) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (8) 声を出して応援する場合はマスクを着用すること。
- (9) 食事を摂取する際には個別に摂取すること。やむを得ない場合には十分な距離をとり、対面しないようにし、食事中の会話は控えること。ドリンクの回し飲みはしないこと。飲みきれなかったドリンクは持ち帰ること。
- (10) プールサイドにプライベートテントを設置することができる。ワンタッチ式のテントは、帰る前にその場に畳んでおいて帰っても構わないが、風で飛ばされることがないようにしっかり固定すること。
- (11) 保護者との導線を分けるため、選手の控え場所として2階観覧席へのプライベートテント等の設置は禁止する。
- (12) 選手控え場所として、観覧席下を開放する。場所の広さに限りがあるため人との距離をとりながらも、譲り合って利用すること。

7 注意事項、その他

- (1) 盗難防止のための貴重品の保管については、各自の責任において管理すること。
- (2) メッシュキャップの使用については、令和4年5月6日付で送付した「高体連主催大会におけるメッシュキャップの使用について」を熟読し、違反のないように着用すること。
- (3) プログラム(予選スタートリスト入り)は、引率・監督1名につき1部、選手は男女合わせて5名につき1部無償で配布する。当日販売は行わない。決勝スタートリストはプログラム1部につき1枚を受付にて無償で配布する。
- (4) 競技結果速報サービスで、競技結果を確認することができる。

8 開会式・閉会式について

- (ア) 選手は各校の控え場所に面したプールサイドに整列すること。
 - (イ) 前回大会(第75回)優勝校(男子:八戸工大一、女子:八戸工大一)の代表者は、10時35分までに優勝旗を持ってプールサイドの本部前に集合すること。
 - (ウ) 選手宣誓者も10時35分までにプールサイドの本部前に集合すること。
- (2) 閉会式について
 - (ア) 選手は開会式と同様にプールサイドに地区ごとに整列すること。